

会 議 録

会議名	令和6年度 第2回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和6年7月20日(土) 午後1時30分～午後2時30分		
開催場所	星が丘公民館 コミュニティ室		
出席者	委員	10人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 星が丘地区の課題について</p> <p>(2) 星が丘地区第47回ふるさとまつり・ 第14回ふれあいフェスティバル進捗状況について</p> <p>(3) 地区まちづくりを考える懇談会について</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(お知らせ) 電子書籍「絵で見る 私の住む街星が丘」について ・令和6年度まちづくり会議スケジュールについて <p>4 閉 会</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、■は申請団体の発言)

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 星が丘地区の課題について

竹田会長から、星が丘地区の課題について資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

【持続可能な事業・団体運営について】

○地区社会福祉協議会の最大の課題は、担い手不足である。担い手が高齢化しており、次の世代への移行が上手くいっていない。唯一、星が丘地区で成功しているのが、すずかけ高齢者学級だと考えられる。すずかけ高齢者学級の卒業生・有志がすずかけOB会を結成して、すずかけオレンジカフェ等の担い手に展開しており、非常に上手くいっている。

⇒○コロナ前までは高齢者学級からOB会という流れが出来ていたが、コロナ禍と公民館の改修工事によって高齢者学級が4年間開かれていなかったため、その間すずかけOB会に新しい人が一人も入っていない状況である。もともとメンバーだった人たちは4つ年を重ね、杖をついて歩いている人が増えてきており、運営に難しさを感じている。

○担い手不足への対策は二つあると考えており、一つは現状の担い手で、できる範囲の活動を行い、続けられなくなったら解散（自然消滅）となる。そして、必要な活動内容であれば、何年かして、次の世代の人たちが新しく団体を立ち上げる。もう一つは、年に1人か2人でも、若い人を引き抜き、担い手を交代していく方法である。横浜市の社会福祉協議会ではその方法で、成功した事例がある。

⇒○千代田7丁目では子ども会が解散し、登下校時の旗振りをする団体がなくなってしまったのだが、現在、今まで地域に顔を出していなかったお父さんが旗振りをしている。

⇒○旗振りは子ども会の役目という考え方だったが、子ども会が解散したことにより自分たちでやらなきゃいけないという意識が芽生えたのかもしれない。既存の団体で後継者が出来なくても、必要な活動は形を変えて次が出てくる。

○星が丘小学校PTAはほぼ加入率が100パーセントであり、役員を減らす等の工夫をしている。それでも、集まりに来られない人はいる。

○子ども会やPTAよりも、民生委員児童委員協議会の人手不足の方が深刻である。相模原市内では人手が50人も足りていない。

【高齢者について】

○7月25日に実施する第2回スマホ教室では、現在定員20名に対し、14名の応募を受けている。14名のうち、3分の2が前回参加した方となり、3分の1が初めて参加する方になる。

【災害時の対策について】

○夜間防災訓練で実施した避難所開設訓練において、仮設トイレの組立よりもマンホールトイレの設置をしたほうが良いのではないかと。

⇒○能登半島地震の情報も踏まえつつ、色々な方法を考えていきたいと思う。ただ、マンホールトイレも確実ではないので、手段の一つとして、仮設トイレも有効に使えたら良いと考えている。

⇒○一番の理想は体育館のトイレが使えることである。子どもセンターのプールにパイプを繋いで、水を流すことはできないのか。

⇒○費用対効果のことも考えると、バケツで水を運ぶ方法も良いと考えられる。

(2) 星が丘地区第47回ふるさとまつり・第14回ふれあいフェスティバル進捗状況について

竹田会長から、令和6年度の星が丘地区第47回ふるさとまつり・第14回ふれあいフェスティバルの進捗状況について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

○模擬店の出店について、地域へ周知しているのか。

⇒●7月の地域情報紙に模擬店の募集記事を掲載している。従来の出店方法以外に、出店料1,000円で場所のみの提供をしていることも案内している。

○場所のみ希望の応募状況はどうなっているのか。

⇒●現時点で、3団体が場所のみの出店方法を希望しており、応募締め切りは7月末日としている。

○去年は終盤で多くのお客さんが帰ってしまったため、今年はステージの出演順などを考慮したほうが良い。

○地区交通安全母の会が行う自転車シミュレーターについて、去年は飲食店に挟まれた場所で出店していたが、今年は物販・展示側に設置して欲しい。電気はコードを用意すれば使えるはずである。

⇒●電圧に問題がなければ、飲食店の発電機ではなく、放送室用の発電機を使用したいと考えている。

(3) 地区まちづくりを考える懇談会について

竹田会長から、地区まちづくりを考える懇談会について資料に基づき説明し、委員の意見を伺った。

<主な意見・質疑>

- ここ数年、星が丘地区では地区まちづくりを考える懇談会を実施していなかったの
で、課題の共有をするためにも実施したほうが良いのではないかと。
- 星が丘地区が実施しなくなってから、他の地区も実施しない方向へと広がってきて
いる。懇談したいテーマがなければ、無理に実施する必要はないと思う。また、懇
談会のためにまちづくり会議を開催するのは本末転倒な話である。
- テーマを決めるとしたら、星が丘地区の課題から選んだらどうか。

<結果>

地区まちづくりを考える懇談会を実施することで決定した。

また、日程は10月の星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルを避けて、
調整することになった。

(4) その他

竹田会長から、(お知らせ)電子書籍「絵で見る 私の住む街星が丘」について及
び令和6年度まちづくり会議スケジュールについて、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

特になし。

4 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫◎	会長	出席
2	公民館	後藤 陽子○	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	坂本 洋三○	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	出席
6	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	出席
7	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	欠席
8	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	欠席
9	健康づくり普及員協議会	長塚 勇一郎	委員	出席
10	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	欠席
11	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	出席
12	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	出席 (Zoom)
13	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
14	相模原交通安全協会千代田支部	五十嵐 富士夫	支部長	欠席
15	公募	近藤 大助		欠席

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）